

分 か る と 快 感 !

Z会ナビ

算数 理科 ▶ 歴史 地理

お題

奈良時代の偉大なお坊さん、 行基はどんな人だったの？

(東京大学 1984年 日本史)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

奈良時代の僧である行基は、当時、寺院にこもって学問と修行につとめる僧が多かった中で、さまざまな地域を訪れて人々に教を説き、人々の協力を得ながら、橋をかけたり、農地に水をいきわたらせるための灌漑施設をつくったりするなどの事業を行いました。このような行基の活動に感銘を受け、支持する人々は、時に千人以上にもなりました。

政府は当初、行基の活動を押さえつけていましたが、聖武天皇の時代になるとその態度を変え、行基の活動を認めるようになりました。743年に天皇が始めた大業では、行基も弟子たちを従えて積極的に参加し、のちには仏教界最高の大僧正の地位にまで就きました。

行基の活動が最初政府に押さえつけられた理由、また、政府がのちに行基を重んじるようになった背景は何か、当時の政治・社会の状況や政府の政策とのかかわりに注目しながら、説明しなさい。



イラスト・瑞木匠

弾圧を乗り越えて最高位に

政府は当初、行基の活動を弾圧しました。行基の活動が国をまもる学問である仏教の統制を乱す動きになりかねないと考えたこと、また、当時の僧は納税を免除されていたため、行基の影響を受けた民衆が大量に僧になることで税金が少なくなることを恐れたことがその理由です。

しかし、聖武天皇の時代になると、疫病の流行や反乱が相次いだことで、人々の間に不安が広まりました。そうした不安を仏教の力で鎮めるために、聖武天皇は大仏の建立を計画します。その際、民衆の支持を多く集める行基にも協力を仰ぐことにより、人々の不安をさらに鎮めることと、大仏建立事業への人々の積極的な参加を促すことをねらいました。その後、行基は政府への貢献が認められ、仏教の世界では最高位とされる大僧正になりました。こうした経緯から、現在でも広く人気を集めているというわけです。

【Z会・河原井彩】

寺を出て活動

良時代になっても、仏教は僧という選ばれた立場の者のみが学ぶ、国をまもるための学問とされ、一般の民衆に向けて広く伝えられることはありませんでした。

その中で、一般の民衆に仏教の教を説いた行基の活動は、奈良時代の常識を大きく超えるものでした。橋や灌漑施設といった一般の民衆の生活の問題を解決した行基の活動は人々の圧倒的な支持を得、行基の活動とともに仏教の教えも人々の間に広まっていきました。

日本全国に伝わる伝説の多いお坊さんという、空海が有名かと思いますが、今回紹介する行基もそれに劣らないほどの伝説を持つ、有名なお坊さんです。今回は、行基について、当時の政治・社会の状況とともに見ていきましょう。

奈良時代の常識を外れる

飛鳥時代に中国・朝鮮半島の最先端の文化として伝わった仏教は、天皇や貴族など、ごくわずかな限られた人々のみで信仰されました。奈

! 今回の教訓
行基にゆかりがあるとされる寺院や史跡は、近畿地方を中心に数多くあります。訪れた際にはその来歴に注目してみると、おもしろいですよ。



河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を経て、現在はデジタル技術を使った未来の教材を考えています。新潟県生まれの埼玉育ち。